

平成13年度第1回 全学（新任教官）FD アンケートのまとめ

回収：93名分（回収率：71.0%）
（参加者131名：総長等を除く）

問（1）今回の新任教官FD研修会の内容について

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 1) 内容は十分であり、参加した意義があった。 | 42名 (45.1%) |
| 2) 意義はあると思うが、内容を充実させて欲しい。 | 48名 (51.6%) |
| 3) 新任教官FD研修会の意義が理解できない。 | 2名 (2.2%) |
| 4) 無回答 | 1名 (1.1%) |

問1で「1）内容は十分であり、参加した意義があった。」の42名に係る問2内訳

- | | |
|-----------------|-----|
| 1) 適切である。 | 34名 |
| 2) 改善を図ってもらいたい。 | 8名 |
| 3) 無回答 | 0名 |

問1で「2）意義はあると思うが、内容を充実させて欲しい。」の48名に係る問2内訳

- | | |
|-----------------|-----|
| 1) 適切である。 | 11名 |
| 2) 改善を図ってもらいたい。 | 36名 |
| 3) 無回答 | 1名 |

問1で「3）新任教官FD研修会の意義が理解できない。」の2名に係る問2内訳

- | | |
|-----------------|----|
| 1) 適切である。 | 0名 |
| 2) 改善を図ってもらいたい。 | 2名 |

問1で「4）無回答」の1名に係る問2内訳

- | | |
|-----------------|----|
| 1) 適切である。 | 0名 |
| 2) 改善を図ってもらいたい。 | 1名 |
| 3) 無回答 | 0名 |

問（2）今回の新任教官FD研修会の開催方法について

- | | |
|-----------------|-----|
| 1) 適切である。 | 45名 |
| 2) 改善を図ってもらいたい。 | 47名 |
| 3) 無回答 | 1名 |

問（3）新任教官FD研修会の内容や開催方法を、今後、充実させるために、ご提案やご意見があればお書きください。

I. 問1で「1）内容は十分であり、参加した意義があった。」の42名に係る問2内訳別での問3の意見等

- 1) 適切である。（34名）

FDの事例紹介及びその評価結果（FD内容の評価）を加えて欲しい。九大内で特別なFDが実

施されていれば、その見学会を企画して欲しい。 / 具体的な内容をもっと入れて欲しい。新任教官のみならず、多くの教官にFDを実施したらどうか。 / 授業内容を改善するためのシステムの検討の場(学部 / 学府レベル)が必要。 / 名大・池田先生の講演で使用されたOHPのコピーの配布を希望。8時半から開催すれば、午前中で終了できます。効率的に時間を使う意味でも半日(お昼を挟まない)の研修を望みます。研修の定期的受講がぜひ必要。 / 九州大学が備える教育上の優れた項目と改善すべき問題点を具体的に紹介し、改善の方向を探るべき。 / FD研修会に参加して、非常に研修内容が良かったです。今後もフォローしていこうと思いますので、HPで詳しく公開してください。 / 助手等を含めて、全ての教官に受講できるようにしたら良いと思う。 / FDは新任教官に限らず、全教官に順次、実施すべきであろう。 / 場所が狭い。机があるとメモが取りやすい。 / 新任研修として、講演一つ一つについては、意義があったと思う。しかし、全学FDという名称が適切かどうか疑問が残る。全学FDというものの定義が今ひとつ理解できなかつた。 / 会場、周辺が手狭で窮屈。テーブルがあればベター。 / この様な形の研修は非常に有意義だと思う。広く参加を呼びかけて、様々な教官が参加できるようにした方が良い。 / 理系、文系別の研修をして欲しい。 / 池田教授の講演は大変新鮮でインパクトがありました。今後もFDに役立つ教育等を熱心に行っておられる演者を選んでいただきたいと思います。教育を熱心に行う教官に対する積極的な評価が必要だと思う。(研究費, etc) / 本学の教官による取り組みを紹介して欲しい。 / メモ・記録が取りづらいので、机のある部屋をとっていただきたい。 / 昨年赴任しまして1年が経ちましたが、このような研修会を着任した初めに受講したかったと思いました。全学の仕組みがよく把握できないまま、授業を担当していましたから、科目の意義も把握しかねていましたし、また、大学に所属し、共通の教育目的を分け持っているという帰属感覚もあまり実感できずにいました。そういう点で今回は私にとって、大変有意義でした。開催方法ですが、はじめのチラシではこのFDでどのようなことが話されるのか詳しく判りませんでした。もう少し内容がわかりそうなものを事前に手にできれば良かったと思います。 / 講演会スタイルのみならず、もっと少人数での演習を盛り込んだ「研修」スタイルによって、FDスキルの向上を図ることも重要であると思います。FDのHPはあるのでしょうか?もし、なければ、関連情報・資料 / リンク集等を作っていただきたい。 / 新任教官だけでなく、全学教職員を対象とした教育機関連意識及び教育スキルアップへの努力がもっと必要だと考えます。

2) 改善を図ってもらいたい。(8名)

もう少し、小さなグループに分けてやって欲しい。学部毎・所属毎に問題も異なるので、少しその違いを考慮して欲しい。 / 今回の研修会は、非常に少人数の教官にしか行われていない。FDを出来るだけ多くの教官に行うための計画を先ず立てていただきたい。今回の研修会は、単なる行事として終わっているような気がします。とにかく、研究成果だけにプレッシャーをかけるだけでなく、教育を発展させるための施策を行っていただきたいです。(私は新任教官ではありませんが、参加しました。)何故、参加人数を制限するのでしょうか?広い会場を使って、もう少し、多くの人に参加してもらったらどうでしょう。 / 新学期開始後、もう少し早い時期(5~6月頃)あるいは後期開始直後の方が講義に反映させやすいと思う。 / 各部局から機械的に人数を算出して動員をかけるのは(初回は仕方がないかも知れないが)、良くないと思う。自発的な参加を促す努力が必要だと思う。内容が良かっただけに多くの同僚に聞いて欲しかった。 / 会場がやや狭い。「新任だけが聞く」というものでもないような気がする。 / 後ろの方に座ったのですが、スクリーンが下半分全く見えませんでした。前の人の頭しか見えません。最後の林田さんの話はもっと内容を充実させた方がいいと思います。何を言いたいのかよく判らない。 / 工学系ではこの時期は、期末や中間発表の直前であり、時間が惜しいのが現実である。時期をず

らしては如何？ / 各部局に動員ノルマを割り当てて、強制的に人をかり出すやり方に失望しました。正直言って、部局長に命じられ、不本意ながら出席したのですが、池田先生の話はヒントに富む、とても有意義なものでした。折角、素晴らしいFDを企画されているのですから、進んで参加したくなるような方策を考えて欲しいものです。例えば、池田先生の著書をもらえたことなども、参加して「トク」をした気になります。

II. 問1で「2) 意義はあると思うが、内容を充実させて欲しい。」の48名に係る問2内訳別の問3の意見等

1) 適切である。(11名)

部屋が縦長で前が見えなかった。講義のための講演は良かった。 / 午前中の池田先生の話は興味深かったが、午後の部の内容は検討すべきだと思いました。 / 最近の学生の質的变化に対応した授業技術は重要であるが、同時に教育上の哲学が論じられるべきです。FDがその事だけに偏する事は避けたい。また、平均値に目線を合わせながらも、意欲的學生を引き上げる教育のあり方、意欲を喪失した學生の受け止め方等にも配慮が欲しい。 / 各学部、研究院主催のFD研修会を持つとき、外部講師の依頼などアドバイスをいただけるのは、大教センター(全学教育機構)でしょうか。お教えてください。 / 資料を読めば、十分理解できる。(集まりが必要か?) セクハラ、接待、金の授受等は、年配の教授にむしろ注意を促すべき! 対象がズレている。私の前任大学(旧帝大の一つ)では、上の行為(もしくは類似行為)は日常的に行われている。発覚しないだけ。主に40代以降の者に多い。 / 新任教官向けという設定がよく理解できない。池田教授のお話は、多くの教官に聞いてもらっても良いと思う。服務義務とともに権利やその他全般的な現在の教官がおかれている社会的立場を鑑みた教育の機会をもっと充実させていただきたい。HPでも良いとおもいます。(京大のHPをみて感じました。)今日のFDの会場は少し狭苦しい。例えば医歯薬コラボの部屋など、机も備わった他の会場でも良いのでは。 / 開催通知に記載されていた企画内容(4)授業を担当するに当たって配慮すること、に期待して聞きに来ました。午前中の講演は期待に沿うものでしたが、午後も時間を取って、もっと具体的な内容の講演、議論を聞きたく思いました。

2) 改善を図ってもらいたい。(36名)

池田先生の話は面白かったし、役立ちそうである。会場が窮屈であった。 / 総論的な話だけではイメージがつかみにくいので、具体例を提示して頂けると助かります。机があった方が良くかと思いました。 / 新任教官だけにしぼるか、教官全員かはっきりさせた方が良い。今回、このメンバーは中途半端。池田先生の話は、理系の授業には余り参考にならない。それよりも学生からの授業評価の高い同じ学部の先生の授業参観などの方がよほどタメになると思う。押川先生の講演内容は、新任教官にとって、何の意義があるのかわかりません。確かに全学教育の目的やカリキュラムの特徴はわかりましたが。新任教官となる前に、これを受けなければ、授業を開始できないなどと徹底した方がよいと思います。こういう研修会自体は必要と思います。 / 特に午後の部について、配ったプリントを読むだけであれば、研修会は必要ない。やるのであれば、事前に説明すべきことをまとめ、要領よくやって欲しい。(教官に授業方法の改善を求めているのであれば、なおのこと。) / 全学的に行うことの意義が理解できなかった。”新任”に焦点を置く意義が理解できなかった。 / 資料の事前配布と時間の短縮。 / もう少し、広い部屋で開催して欲しい。 / 午前中で終わらせるなど、他業務への影響を最小にするスケジュールを考慮して欲しい。 / 本日の研修会のような全学的な一般的なもののほかに、少人数(研究院単位くらい)のもう少し具体的な内容を含む研修が計画されてもよい。 / 長時間すぎる。 / 10:00~14:30は、午前・午後の相互の時間が取られるため、午前をやめて、午後だけにして欲しい。ス

ライドがなく話しただけだと理解は出来ても興味が出ず、眠くなる。 / 資料は、先に配布すべき。 / 仕方の無いことかもしれませんが、学生にプレゼンを教えているにもかかわらず、講師の先生のプレゼンにあまりインパクトが無かった点が少々残念だった。（聞き取りにくい、図も判りづらい、専門用語の多用など。）開催時間を午前のみ、あるいは午後のみとしていただけないでしょうか。 / 受講者にもっと危機感を持たせることが必要。新任教官に何を期待しているのかが見えない。興味ある話が聞けたでは、研修会の意味ない。 / 私は新任教官ではありませんが、「割り当て」で参加しました。新任教官対象なら、割り当て方式でなく、新任教官が参加するようにすれば良いのでは？工学系なので定期試験中で、出題や採点で大変です。時期を考慮して欲しいです。 / 講演時間を短縮して、講演数を増やしていただきたい。一講演、1ポイントのような内容配分にしていただきたい。資料は前もって配布していただきたい。時間を短縮するか、参加人数を減らしていただきたい。10:00～14:30よりは1:00～5:00にいただきたい。 / ”新任教官FD”を前提として考えるなら、1)「研究大学」としての教育（学問、研究に興味と意欲を持つ学生の教育）と最近増えている”そうでない学生”の教育とを大学としてどう両立させようとしているか、2) 学生の人生の中での大学教育をどう考えるか？（今回のFDでは、授業を主とした狭い意味での教育に偏りすぎ）、3) 九大の特色をどの様に考えるか？（学風など）、等についての情報が得られるとありがたい。新任教官FDと一般的な教育に関するFDとが混同気味であると感じた。 / 学内の人が話をするのに、拍手、紹介に敬称は不要。 / 少人数に分けて開催することを希望します。 / 配布資料は役に立つと思う。九大内に授業用のリソースセンターを各部局に作ってもらいたい。朝、怪我をしたため病院に行くため遅れてよいかと庶務に連絡したところ、絶対に出席せよと言われた。強制的すぎる。新任者だけでなく、ランダムサンプリングにしたらどうか。新任は、意欲もあり、それほど必要性があるとは思えない。講演だけなら、ブックレットとQ&Aで。九大のセンターは、名大、京大に比べて、何をしているのかわからない。 / 午前のような内容は、新任に限らず、むしろ長く仕事に携わった方々にも必要ではないかと思うので、各部局単位で毎年でなくとも数年に一度行うなど、もう少し多くの教官が参加できるようにすべきだと思う。午後の内容は、赴任時に説明するような体制を作るべきではないかと思う。改めてこうした機会を持つ必要はないように思う。全学的FDということで全学ということを強調したいのならば、九大あるいは他大学の中のような様々な新しい試みの紹介、その体験談などを聞きたいと思う。 / 午前中の講演は余りにレベルが低すぎておもしろくなかった。 / 新任教官に対するFDであれば、現在の講義における問題点の紹介をもっと徹底した方が良い。問題点の明確化なくして改善案の策定はできない。もっともFDは、新任教官に対して実施する前に現教官に対する研修を行う必要の方が大きい。会場は、メモがとれる所を選ぶべきである。昼食時間を挟まず、効率的に時間を使って欲しい。 / 講師からも指摘があったが、「新任教官」の基準が曖昧である。私自身も新任とは言い難い。倫理については、別機会にまとめたほうが良い。 / 池田教授の講演は、内容も充実していたとは思いますが、講義の実例としては、できれば、多人数の一般教育クラス（非専攻学生に対する基礎科目や系外学生に対する授業）の例が知りたかった。100人余のクラスの問題や学生の受講態度の問題が大きいのはこのようなクラスだと考えられるので。 / 全体で2時間程度に時間を短縮していただきたい。午前中の池田氏の講演は大変参考になりました。 / 午前の部の話は意義があった。是非、続けて欲しい。私は、専攻主任の依頼で動員された。動員するなら、「新任教官FD研修会」という名前は変えるべき。この名前で行うなら、新任教官は全員出席させるべき。なお、中味自体は面白かった。運営方法では、座るべき椅子が足りない。余裕が必要。 / 講師は学外から呼ぶ必要はなく、学内ですぐれた教育を行っておられる方にお話しいただくのも良いと思います。 / ティーチングスキルに関する講演は、プレゼンテーション演習のような内容ではなく、大学における授業の大部分をしめる一般の講義について、実例を挙げて説明していただきたい。セクハラ、ハラスメント

に関しては、より明確なガイドラインを周知すべき。 / 内容的に①新任のみでなく、全教員を対象とし、「考えさせる」ことに主眼がある午前の部と、②文字通りの新任研修的内容であり、情報伝達に主眼がある午後の部とで、コンセプト、ターゲットが不統一な印象を受けました。池田先生の講演の内容は素晴らしく思いますが、大人数を対象とする一斉講演よりも、各自、各部局が実践に通用することにこそ意味がある（池田先生自身の授業がそうであるように）内容だと思います。FDの「やり方」についても、技法的改善が求められるのではないのでしょうか。講師からの一方向的情報伝達だけではなく、各教官、各部局の試み（Tips）の交流を組織化するような企画が求められていると思います。大変な作業と存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。 / 会場が少々窮屈であった。テーブルがなかったので、資料を広げたり書き込みをしたりするのに難儀した。赴任して数年経つのに「新任」研修に今頃、参加を指名された。第1回であるから、今まで「新任」に対して取り組みがなされなかったためであろうが、本来はその年度の赴任者に限定すべき。教育、教養、服務規程等、その内容からして、「新任」に限定すべきものではなく、全教官に周知徹底すべきものと思われる。むしろ、昔ながらの教育観、女性観（セクハラ観？）に凝り固まっている年輩者こそ研修すべきだと考える。 / FDの定義が曖昧である。今回のメインテーマは、教養教育の復権に向けて、新任教官にその主旨を伝えることと、教養部廃止時から九大では着々と準備されてきた（時代の流れを先取りして行われた）諸施策を周知徹底することと理解する。新任以外の旧来の教官から、このような動向を聞いたこともないし、既に旧教官にどの位徹底されているのか疑問に思う。教養教育の重要性は、現時点の社会状況から特に強調されているが、本来の大学教育とは何か、その中での教養教育のあり方を考えると、教養部廃止時点の経過など過去を学習材料にして、九大としてのPhilosophyを確立すべきと考える。第2回の新任教官FD研修会は、それを新任の教官に伝える場として欲しい。

3) 無回答（1名）

場所：要再検討。時期：年度開始後に開催されるべきと思う。第一の講演テーマ：対象を明確にする必要があるのでは、新任者全員が全学教育に当たる訳ではないので……。 （全学教育と専門教育の区分を明確にすべき。）

Ⅲ. 問1で「3) 新任教官FD研修会の意義が理解できない。」の2名に係る問2内訳での問3の意見等

- | | |
|-----------------|----|
| 1) 適切である。 | 0名 |
| 2) 改善を図ってもらいたい。 | 2名 |

もっと具体的なものであるべきで、総論的な話のみでは意味がない。実施組織が”頭でっかち”で、実質的なFDとはなりえない。倫理については、新任教官全てについて行うべきであろう。 / FDは、新任教官だけではないはず。いかにも場当たりの開催という印象。FDは、全教官が対象ではないか？池田先生のお話は参考になった。PowerPointのコピーが欲しかった。池田先生のお話の中で「授業の目標と社会の要請との適合性」（納税者の立場から）があったが、このような観点からも「FDの必要性について」もっと話をすべきではないか？

Ⅳ. 問1で「4) 無回答」の1名に係る問2内訳での問3の意見等

- | | |
|-----------------|----|
| 1) 適切である。 | 0名 |
| 2) 改善を図ってもらいたい。 | 1名 |

午前の講演には失望した。本当に専門教育経験のある人に教育を議論して欲しい。理系では、そんなのんびりしたことは言ってられない。スポーツのトレーニングと同じで文系のいいかげんな教養授業と同じに扱って欲しくない。新鮮みに欠けるたいしたことしていないのに本によく書ける。